

6月の取り組み

ペタンクで楽しく交流

6月11日、ときわスケートリンク内グラウンドで、ホスピタリティー安平ペタンク選手権大会が行われました。

安平町内からはもちろん、遠くは沖縄県からのチームも参加。前日の雨の影響で、グラウンドの状態が厳しいものでしたが、参加した選手の皆さんは、とても楽しそうにプレーをしていました。



いざというときに備え

11日、安平公民館で安平第一自治会主催の自主防災訓練が行われました。

この日は、備蓄防災用品の動作確認や図面上で危険箇所、避難経路の確認を実施。その後、防災食を試食し、参加者からは「意外においしい」との声が。

この他、13日に東早来自治会、16日に安平第三自治会でも防災訓練が行われ、地域防災の輪が広がっています。

親子で健康で良い歯

北海道胆振総合振興局と一般社団法人苫小牧歯科医師会が主催する、親と子のよい歯のコンクール苫小牧地区大会で、三橋啓子さんと瑛太君の親子が奨励賞を受賞し、16日その表彰式が行われました。

選考基準は、口腔内の健康状態はもちろん、食生活などにも及びます。

主催者から賞状と記念の盾を受け取った三橋親子は「これから歯を大事にしていきたい」と話してくれました。



春の叙勲

早川明夫氏と水橋呈一氏に

瑞宝単光章



早川 明夫氏

水橋 呈一氏

6月15日、春の叙勲の伝達式が早来庁舎で行われ、胆振総合振興局の早苗保穂副局長から勲記と勲章が授与されました。

瑞宝単光章を受章した早川氏は、昭和40年に国勢調査の調査員として初めて統計調査に従事。その後も国勢調査を10回、農業センサスを10回や北海道農業基本調査を28回と、数多くの統計調査に尽力しました。

水橋氏は、昭和43年に追分消防団に入団。消防団業務に精励し、安全で住みよいまちを守るため、消防団副団長に就任。地域防災の強化で団員育成にも尽力し、消防体制作りにも大きく寄与しました。

勲記、勲章を受け取った両者は「大変素晴らしい章をいただいた」と言葉少なにその喜びを語ってくれました。